

神奈川県議会議員
自民党神奈川県第4選挙区支部支部長

永田 まりな

MARINA NAGATA



鎌倉・葉山で深刻化する生活環境への影響

鎌倉・葉山を中心に増える民泊 課題解決に新たな規制を求める

鎌倉市や葉山町などの沿岸地域では、近年民泊が急増し、生活環境への影響が深刻化しています。住宅地での営業拡大に伴い、騒音・ゴミ・交通混雑などの苦情が住民から寄せられ、近隣への十分な説明が行われないまま開業するケースも多く、地域トラブルにつながっています。

県への届出状況(保健所設置市を除く)を見ると、届出事業者の約3分の1が鎌倉市に集中しており、地域の負担が特に大きいことが分かります。こうした実態を受け、鎌倉市長からは県知事に対し、民泊規制の強化を求める直接要望が提出されています。

民泊問題への対応は、自民党県議団としても会派代表質問で本問題を取り上げ、県に対して早急な実態把握と規制の強化を求めてきた経緯があります。住民生活と観光振興の両立は県全体の課題であるとの認識のもと、議会としても継続的に対応を求めています。

私は厚生常任委員会においても民泊問題を取り上げ、県担当部局に対し詳細な実態把握と対策の強化を求めました。質疑の中では、県への届出事業者の中に海外事業者が相当数含まれていることが明らかになりました。海外事業者の場合、地域との連携やトラブル発生時の対応が十分でないケースが多く、行政による指導や監督が行き届きにくいことが課題なのではと感じています。

さらに、管理者不在型の民泊では特にトラブルが頻発している実情で、地域の方からの陳情も多く、その状況は待った無し。

現場に責任者がいないケースでは、騒音・ゴミ出し・駐車問題などが迅速に解決されず、近隣住民の負担と不安が増大しています。

速やかに、管理者の常駐や連絡体制の強化、地域との連携を義務づける仕組みづくりが必要です。

一方、法令を順守し地域と協力しながら適正に運営する事業者も多く存在しています。しかし現行制度では、誠実な事業者とルールを守らない事業者が同列に扱われ、住民の信頼が得られにくい状況にあります。

また、神奈川は他県と比較し条例による営業制限が限定的で、現時点で規制があるのは横浜市の限られた用途地域と、箱根町の一部地域のみです。

地域主導の対策づくりを！ 住民生活が守られることが最重要

これらのことから、私は優良事業者と問題事業者を区別する制度の設計導入を提案するとともに、将来的には免許制の導入や、箱根町を参考にした営業区域・期間の制限など、新たな規制の拡充・検討が必要であると考えています。観光は地域の魅力を支える大切な要素ですが、そこには住民が安心して暮らせる生活環境が担保されていることが大前提です。地域の皆さまの声を丁寧に伺いながら、鎌倉市長をはじめとする市町の要望を県にしっかり届け、県全体で実効性のある条例制定など、ルール整備が一刻も早く進むよう今後も働きかけてまいります。

地元選出の県議として引き続き、生活環境の保全と観光との両立・調和を図るため、必要な対策を提案するとともに、現場の状況を注視してまいります。

参考 神奈川県内 住宅宿泊事業施設数(抜粋)

市町村	施設数	市町村	施設数
栄区/横浜市*	4/272	葉山町	39
鎌倉市	151	逗子市	26
藤沢市*	91	箱根町	77

観光庁「民泊ポータルサイト」、及び各市町村のホームページで公開されている最新の「住宅宿泊事業届出住宅一覧」より計数(11/21現在)

*横浜・藤沢市は保健所設置市のため、県の届出総数に含まない

インフルエンザ流行警報を発令 県内各地で感染拡大に警戒

神奈川県は11月13日、県内のインフルエンザ患者報告数が流行警報基準を上回ったことから、今季初めて「インフルエンザ流行警報」を発令しました。令和7年第45週(11月3日～11月9日)の定点あたり報告数は36.57で、警報基準の30.0を超えています。

県内では、鎌倉市・逗子市・葉山町、横浜市栄区を含む沿岸地域でも感染が広がっています。特に子どもや高齢者を中心に報告が増加しており、学校や保育施設、高齢者福祉施設での集団感染への警戒が必要な状況です。

県は、日常生活での基本的な感染予防策を改めて呼びかけています。外出後や帰宅時の手洗い・うがい、咳やくしゃみの際のマスク着用や咳エチケットの徹底、室内の適切な湿度管理などを心掛けてください。また、乳幼児・高齢者・基礎疾患のある方は、ワクチン接種をご検討ください。発症した場合は、早めに医療機関を受診し、無理な外出は控えることが重要です。例年、12月中旬以降に報告数が急増する傾向があり、観光や外出の機会が増える年末年始に向けて、県民・地域・施設が一体となった感染予防の取り組みが求められます。鎌倉・逗子・葉山・栄区の皆さまには、日常生活での対策を再点検し、安心・安全な冬を迎えられるようご協力をお願い申し上げます。

県では引き続き、医療機関や保健所との連携を強化し、流行状況の監視と情報提供に努めてまいります。最新情報は県ホームページや各区市町の保健福祉部門をご確認ください。

インフルエンザ 流行警報を発令します！

(県ホームページ記者発表資料)



11/3～9 県内定点あたり報告数など

マメな手洗いと咳エチケットで
「かからない」、「うつさない」。

県政報告会「まりな会」のご案内

県政で起きていることを身近に感じていただけるよう、そして地域皆様の声を直接お聞きする場として、報告会を開催しています。市議会議員時代より、定例会月を除き月に1回実施してきたこの「まりな会」は、現在原則毎月第3土曜日、主に七里ガ浜町内会館をお借りし行っていますが、今後は開催場所を市内4区に拡大し、より広くお声をお寄せ頂きたいと考えています。詳細はSNSや永田まりな公式LINEで発信して参りますので、ぜひフォロー＆お友達登録頂き、お気軽にご参加下さい！



1983年2月19日生まれ42歳 七里ガ浜在住
聖路加幼稚園 ～ 鎌倉市立七里ガ浜小学校 ～ 私立北鎌倉女学園中学校
神奈川県立鎌倉高校 ～ フェリス女学院大学卒業

2013年 鎌倉市議選初当選、2017年 鎌倉市議選2期目当選
2019年 神奈川県議会議員初当選、2023年 神奈川県議選2期目当選
厚生常任委員会、安全安心・未来環境特別委員会所属
自民党神奈川県副幹事長 公式LINEで県政情報など随時発信中！

「永田まりな」公式LINE
友だち登録はこちら



永田まりな事務所